

<第4051回>

目的地：北八ツ（にゅう・高見石）

担当者：後藤重雄

実施日：2020年8月1日（土）～3日（月）

形式：小屋泊 ハイキング

費用：¥39,100+（各自支払の8月2日の昼食・8月3日の昼食・夕食代）

参加者：7名

松原清・松原博美・町田喜勝・石居利里・赤松朋子・吉川恵美・後藤重雄

行程：

8月1日 天気：晴れ時々曇り

梅田阪急BT(8:00)⇒(13:35)松本BT⇒(13:45)JR松本駅(14:17)⇒(15:03)茅野駅⇒(15:25)ビジネス旅館わかみず[泊]
*茅野駅で吉川さん合流

8月2日 天気：晴れ後ち曇り後ち雨

ビジネス旅館わかみず(8:25)⇒(9:10)白駒池駐車場(9:25)⇒(9:40)青苔荘【不要荷物預け】(9:55)⇒にゅう登山口(10:05)⇒(10:25)白駒湿原(10:30)⇒(10:50)急登の手前(11:00)⇒(11:20)登り途中(11:25)⇒(12:05)にゅう【昼食】(12:55)⇒(13:25)稲子分岐過ぎ(13:30)⇒白駒湿原(14:15)⇒(14:30)にゅう登山口(14:35)⇒(14:50)青苔荘[泊]

8月3日 天気：晴時々曇

青苔荘(7:05)⇒高見石分岐(7:20)⇒(7:35)登り途中(7:40)⇒(8:05)カモシカの森(8:10)⇒(8:20)高見石(8:50)⇒(9:17)丸山(9:35)⇒(10:15)丸山の森(10:20)⇒(10:50)麦草峠バス停(11:05)⇒(12:17)茅野駅【昼食・入浴】(15:16)⇒(15:47)塩尻(16:03)⇒(18:05)名古屋(18:23)⇒(19:12)新大阪駅 *吉川さんお別れ

感想：

- ・大阪～松本間的高速バスは、乗客が20名弱と少なく、高速道路も空いていた為、定刻よりも15分も早く松本バスターミナルに到着し、いまままでに経験したことのない早さでした。（いつも延着していました）
- ・茅野での宿『ビジネス旅館わかみず』は、例年なら各大学・高校の夏合宿で一杯なのですが、ほとんどキャンセルで、宿泊者は、我々7人とその他数名で、寂しい限りでした。しかし、夕食は美味しく、ボリューム一杯で、ビールがすすみました。
- ・8月2日朝、予約していたジャンボタクシーで、白駒池駐車場に到着すると、既に登山や観光目的の車で一杯でした。（ほとんど車で来て、日帰りのようでした）空には、アカトンボが、舞っていました。
- ・白駒池周回木道の途中から「にゅう」への登山道に入り、苔むした滑りやすい道を登り、稜線上にでると、左に直ぐ、岩累々の「にゅう」に着きました。あいにく展望は望めませんでした。眼下に白駒池や遠くに、天狗岳が望まれました。
- ・青苔荘の宿泊者は、私たち7人と他に1人と、少なかったです。しかし美味しい料理と、生ビール（地ビール）で、楽しくそして、静かな夜をすごしました。
- ・翌朝7時05分出発し、白駒池周回木道から、苔の美しい道を、高見石にむかいました。高見石小屋の裏の高見石に登ると眼下に、白駒池が森の中の瞳のように、光っていました。
- ・高見石小屋から丸山を経て、北八ツらしい滑りやすい、緑の苔の道を慎重に、麦草峠を目指しました。麦草峠付近は、ピンクの美しい、ハクサンフウロが、たくさん咲いていました。バス停には、バス発車15分前に到着し、やれやれでした。まずまずの晴天に恵まれ、楽しい山旅となりました。メンバーの皆さん、おつかれさまでした。今年も、夏山に行けて、良かったです。

特記

- ・コロナ対応の為か、交通機関・宿とも人が少なく、気の毒なくらいでした。その分、ゆっくりは、できましたが。
- ・各宿はコロナ対応で、マスク装着・手洗い・食事は、1テーブルに2～3名で、1方向を向き、ディスタンスを確保し、会話程度で、静かに、いただきました。
- ・「にゅう」・「高見石」共に、樹林帯の中の、緑の苔の美しい、静かな登山コースでした。